

第1回防衛省・自衛隊の戦傷医療における輸血に関する検討会
議事要旨

1 日時

令和5年10月6日（金） 14時00分～16時00分

2 場所

グランドヒル市ヶ谷 3階「翡翠」

3 出席者

(有識者) 鈴木委員（座長）、岡崎委員、清住委員、千先委員、松本委員、宮田委員
(防衛省) 松本防衛大臣政務官、大臣官房衛生監、統合幕僚監部首席後方補給官、
陸上幕僚監部衛生部長、海上幕僚監部首席衛生官、航空幕僚監部首席衛生官、
人事教育局人事計画・補任課長、人事教育局衛生官

4 議事等

- (1) 冒頭、松本防衛大臣政務官より開会の挨拶がなされた。
- (2) 防衛省より、「自衛隊衛生の組織・能力等の概要」、「国家防衛戦略等における衛生施策の概要」、「諸外国軍における輸血要領」、「国内における現状の血液製剤等の概要」及び「自衛隊の血液製剤の運用に係る基本的な考え方」について説明がなされた。
- (3) 議事(2)について、各委員よりそれぞれ意見が述べられ、
 - ・国内及び諸外国の輸血要領を参考として、防衛省・自衛隊が検討している隊員間輸血を行う際の留意点
 - ・緊急時に異型（低力価O型）輸血を行う場合の必要条件
 - ・近年米軍が取り入れている血小板温存の全血製剤の有用性と仮に国内で運用する場合の安全性等の確保や、実現に向けてのアプローチについて、専門的見地から防衛省・自衛隊の戦傷医療における輸血に資する施策について議論が行われた。

5 次回予定

次回検討会は、令和5年10月17日（火）に開催する予定。